政策ごとの決算との対応について(総括表)

																			(単位:千円)
																	備考		
歳出予算額	前年度繰越額	予備費使用額	流用等増△減額	予算決定後移替增△減額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	差引額	歳出予算額	前年度繰越額	予備費使用額	予算総則の規定による経費増額	流用等增△減額	予算決定後移替增△減額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	差引額	
325,892	-	-	△2,050	-	323,842	241,494	-	82,347	-	-	-	-	-	-	-	- '	1 - '	-	
137,707	-	-	2,050	-	139,757	122,243	-	17,513	32,980	-	-	-	-	-	32,980	9,346	- '	23,633	
1,001,830	407,368	-	-	-	1,409,198	1,047,630	64,800	296,767	-	-	-	-	-	-	_	_	'	-	
387,498	45,000	-	-	-	432,498	340,208	-	92,289	-	-	-	-	-	-	-	_	'	-	
1,852,927	452,368	-	-	-	2,305,295	1,751,578	64,800	488,918	32,980	-	-	-	-	-	32,980	9,346	'	23,633	
	137,707 1,001,830 387,498	325,892 - 137,707 - 1,001,830 407,388 387,498 45,000	325,892 137,707 1,001,830 407,368 - 387,498 45,000 -	325,892	325,892 - - Δ2,050 - 137,707 - - 2,050 - 1,001,830 407,368 - - - 387,498 45,000 - - - -	議出予算額 前年度機越額 予備責使用額 流用等増入減額 予算決定後移替増入減額 歳出予算現額 325,892	議出予算額 前年度繰越額 予備費使用額 流用等増△減額 予算決定後移储増△減額 歳出予算現額 支出済歳出額 325,892	議出予算額 前年度縁越額 予備費使用額 流用等増△減額 予算決定後移储増△減額 歳出予算現額 支出済歳出額 翌年度縁越額 325,892	議出予算額 前年度繰越額 予備費使用額 流用等増△減額 予算決定後移増△減額 蔵出予算現額 支出済蔵出額 翌年度機越額 差引額 325,892	歳出予算額 前年度縁越額 予備費使用額 流用等増入減額 予算決定後移増出入減額 歳出予算現額 支出済歳出額 翌年度縁越額 差引額 歳出予算額 325,892	議出予算額 前年度縁越額 予備責使用額 流用等増△減額 予算決定後移増組△減額 歳出予算現額 支出済歳出額 翌年度縁越額 差引額 歳出予算額 前年度縁越額 325,892	議出予算額 前年度機越額 予備費使用額 流用等増入減額 予算決定後移首増入減額 歳出予算現額 支出済蔵出額 翌年度機超額 差引額 歳出予算額 前年度繰越額 予備費使用額 325,892	議出予算額 前年度縁越額 予備費使用額 洗用等増△減額 予算決定後移替増△減額 歳出予算額 支出済歳出額 翌年度縁越額 差引額 歳出予算額 前年度繰越額 予備費使用額 予算税即の規定による経費増組 325,892	歳出予算額 前年度縁越額 予備費使用額 洗用等増△減額 予算決定後移増増△減額 歳出予算現額 支出済歳出額 翌年度縁越額 差引額 歳出予算額 前年度縁越額 予備費使用額 予用を利の規定による経典や幅 洗用等増△減額 325,892	歳出予算額 前年度縁越額 予備費使用額 流用等増△減額 予算決定後移増増△減額 歳出予算現額 支出済歳出額 翌年度縁越額 差引額 歳出予算額 前年度縁越額 予備費使用額 予算税の規定による経費物間 流用等増△減額 予算決定後移増増△減額 325,892 △2,050 - 323,842 241,494 - 82,347	議出予算額 前年度縁越額 予備費使用額 洗用等増△減額 予算決定後移増=△減額 歳出予算現額 支出済歳出額 翌年度縁越額 差引額 歳出予算額 前年度縁越額 予備費使用額 予算限の規定による程度申報 洗用等増△減額 常算決定後移替増△減額 歳出予算現額 325,892	歳出予算額 前年度縁越額 予備費使用額 洗用等増△減額 予算決定後移増組△減額 成出予算規額 支出済歳出額 翌年度縁越額 差引額 歳出予算額 前年度縁越額 予備費使用額 予算数の規定による軽見増組 洗用等増△減額 大算決定後移増塩△減額 歳出予算規額 支出済歳出額 325,892	機出予算額 前年度縁越額 予備責使用額 洗用等増△減額 予算決定後移皆増△減額 歳出予算現額 支出済歳出額 翌年度縁越額 差引額 歳出予算額 前年度縁越額 予備責使用額 予算の内元によら経費物間 洗用等増△減額 歳出予算項額 支出済歳出額 翌年度縁越額 325,892	### 前年度縁越額 予備費使用額 洗用等増△減額 予算決定後移増冷減額 歳出予算現額 支出済歳出額 翌年度縁越額 差引額 歳出予算額 歳出予算額 前年度縁越額 予備費使用額 予算限の規定による経費物間 洗用等増△減額 歳出予算現額 支出済歳出額 翌年度縁越額 差引額 325,892

⁽注) 1. 政策評価の対象となる計数及び政策評価の対象外の計数で政策に関連付けられるものを掲記している。
2. 計数は、原則として単位未満を切り捨てたものであり、端数において合計とは一致しないものがある。
3. 千円未満の計数がある場合には「O」で表示し、該当計数が皆無の場合は「一」で表示している。

政策ごとの決算との対応について(個別表) 【一般会計】

(所管)内閣府 (組織)金融庁 政策評価体系	組織	項	事項	—————————————————————————————————————	前年度繰越額	 予備費使用額		予算決定後移替増△減額		支出済歳出額	翌年度繰越額	差引額	(単位:千円 備考
, 経済成長の礎となる金融システ			計	325,892	_	_	Δ2,050	-	323,842	241,494	-	82,347	
I ムの安定	金融庁	金融政策費	金融機能安定確保に必要な経費	325,892	_	_	△2,050	-	323,842	241,494	_	82,347	
"利用者の視点に立った金融サー	A =1 ±		計	137,707	-	-	2,050	-	139,757	122,243	-	17,513	
ビスの質の向上	金融庁	金融政策費	金融サービス向上推進に必要な経費	137,707	-	_	2,050	-	139,757	122,243	-	82,347 17,513 17,513 296,767 296,767 92,289 88,515 3,773	
エ ハエ ほいっぱーセフナリの供答	金融庁		計	1,001,830	407,368	-	-	-	1,409,198	1,047,630	64,800	296,767	
Ⅲ 公正・透明で活力ある市場の構築	並際打	金融政策費	金融市場整備推進に必要な経費	1,001,830	407,368	-	-	-	1,409,198	1,047,630	64,800	82,347 82,347 17,513 17,513 296,767 296,767 92,289 88,515	
			計	387,498	45,000	_	-	-	432,498	340,208	-	92,289	
IV 横断的施策	金融庁	金融政策費	金融政策推進に必要な経費	256,141	45,000	_	_	-	301,141	212,625	-	88,515	
		立煕以來負	経済協力に必要な経費	131,357	-	1	-	-	131,357	127,583	-	82,347 82,347 17,513 17,513 296,767 296,767 92,289 88,515 3,773	
Δ =1					1		<u> </u>				1		
合 計				1,852,927	452,368	-	-	-	2,305,295	1,751,576	64,800	488,918	

⁽注) 1. 政策評価の対象となる計数及び政策評価の対象外の計数で政策に関連付けられるものを掲記している。 2. 計数は、原則として単位未満を切り捨てたものであり、端数において合計とは一致しないものがある。 3. 千円未満の計数がある場合には「O」で表示し、該当計数が皆無の場合は「-」で表示している。

政策ごとの決算との対応について(個別表) 【特別会計】

(所管)内閣府(金融庁) (会計)東日	日本大震災復興特別会計													(単位:千円)
政策評価体系	組織	項	事項	歳出予算額	前年度繰越額	予備費使用額	予算総則の規定 による経費増額	流用等增△減額	予算決定後移替増△減額	歳出予算現額	支出済歳出額	翌年度繰越額	差引額	備考
, 利用者の視点に立った金融サー	(金融庁)		計	32,980	-	_	-	-	-	32,980	9,346	-	23,633	
「ビスの質の向上	(30)		金融サービス向上推進に必要 な経費	32,980	-	-	-	-	-	32,980	9,346	-		復興庁所管から移替 32,980(千円)
合 計				32,980	_	-	_	_	-	32,980	9,346	_	23,633	

⁽注) 1. 政策評価の対象となる計数及び政策評価の対象外の計数で政策に関連付けられるものを掲記している。 2. 計数は、原則として単位未満を切り捨てたものであり、端数において合計とは一致しないものがある。 3. 千円未満の計数がある場合には「O」で表示し、該当計数が皆無の場合は「一」で表示している。